

# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 深谷通信所跡地土質調査委託

事業名または工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名	B-1	調査位置	神奈川県横浜市泉区和泉町・中田町・深谷通信所跡地	北緯	35° 23' 37.8341"
発注機関	横浜市政策局 基地対策課	調査期間	令和02年02月05日～令和02年02月10日	東経	139° 30' 0.1087"
孔口標高	H= 42.26 m	角	180° 上 90° 下 0°	方位	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°
総削孔長	36.00 m	地盤勾配	0°	使用機種	ワイビーエム YBM-05
		エンジン	ヤンマー NFD-9	ポンプ	東邦地下工機 BG-3

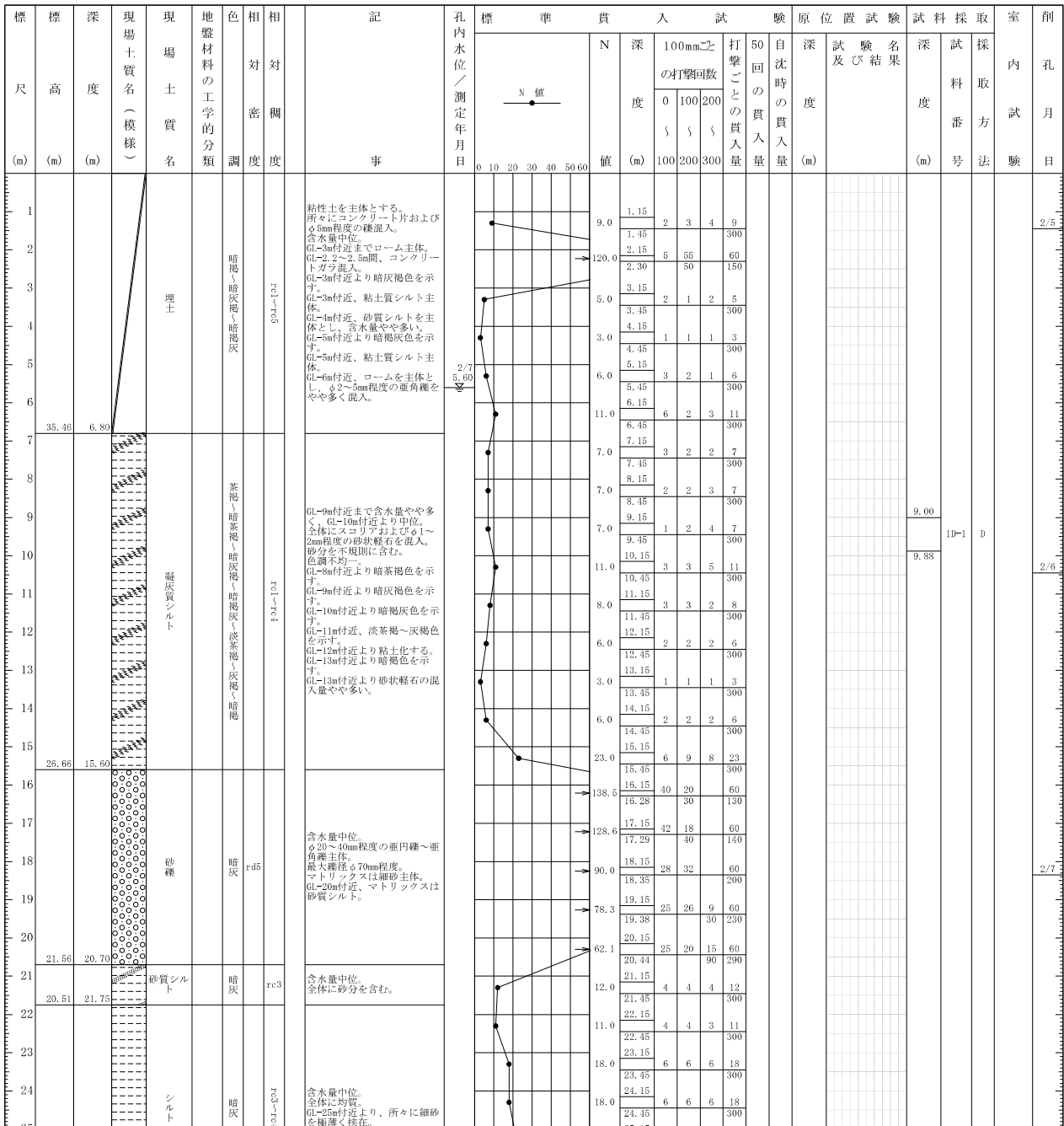


図3.2 ボーリング調査の結果

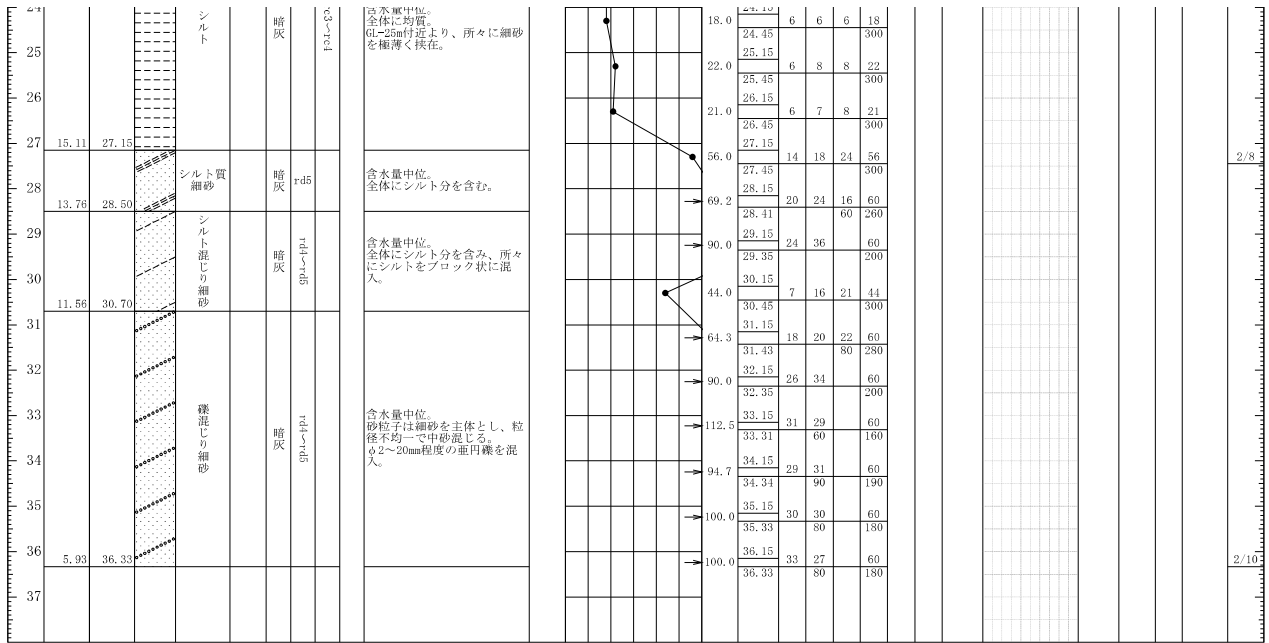


図3.2 ボーリング調査の結果

# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 深谷通信所跡地土質調査委託

事業名または工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名	B-2	調査位置	神奈川県横浜市泉区和泉町・中田町・深谷通信所跡地	北緯	35° 23' 39.4323"
発注機関	横浜市政政局 基地対策課	調査期間	令和02年02月03日～令和02年02月04日	東経	139° 29' 58.0187"
孔口標高	H= 41.21 m	角	180° 上 90° 下 0°	方位	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°
総削孔長	18.00 m	地盤勾配	0°	使用機種	ワイビーエム YBM-05
		エンジン	カンマー NFD-9	ポンプ	東邦地下工機 BG-3

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色相対密度	相対稠度	記号	孔内水位 / 測定年月日	標準貫入試験				原位置試験	試験採取名	試験番号	採取方法	室内試験	削孔月日		
										N値	深さ (m)	100mmの打撃回数	200mmの打撃回数								
1				埋土		暗褐色	rc2	結性土を主体とする。所々にコンクリート片およびφ10～20mm程度の礫混入。含水量中位。GL-0.5m付近、コンクリートガラ混入。GL-1m付近、淡緑灰色固結シルトを塊状に混入。GL-2m付近、茶褐色のロームを混在。GL-3m付近、レンガ片混入。	2/3 0.80	7.0	1.15	2	3	2	7						
2										4.0	1.45	1	2	1	4						
3										6.0	2.45	2	2	2	6						
4										4.0	3.15	2	2	2	6						
5	36.31	4.90								4.0	3.45	1	1	2	4						
6										17.0	4.15	5	5	7	17						
7						茶褐色	rd5	含水量中位。全体にスコリアおよびφ1～2mm程度の砂状軽石を混入。砂分を不規則に含む。色調不均一。GL-5m付近より暗灰褐色を示す。GL-6m付近より暗褐色を示す。GL-7m付近より暗灰褐色を示す。GL-9m付近、塊状に固結する部分あり。GL-10m付近より暗褐色を示す。GL-10m付近、粘土化する。GL-11m付近より淡茶褐色を示す。砂状軽石の混入量やや多い。GL-12m付近、暗褐色を混在。GL-12.5～12.5m間、軟質化した乳灰色の粗粒軽石を挟在。GL-13m付近より暗褐色を示す。GL-14m付近より暗褐色を示す。		6.0	5.45	1	2	3	6						
8										6.0	6.15	1	2	3	6						
9										9.0	6.45	2	3	4	9						
10										11.0	7.15	4	3	4	11						
11										6.0	8.45	2	2	2	6						
12										4.0	9.15	2	2	2	6						
13										6.0	10.15	1	2	3	6						
14										4.0	10.45	1	1	2	4						
15										4.0	11.15	1	1	2	4						
16	26.46	14.75								4.0	11.45	1	1	2	4						
17										5.0	12.15	1	1	2	4						
18	22.89	18.32								19.0	12.45	2	1	2	5						
19										78.3	13.45	6	7	6	19						
										81.8	14.15	23	30	7	60						
										163.6	15.38	30	30	230							
										105.9	16.15	27	27	6	60						
											16.37	20	20	220							
											17.25	50	10	110							
											18.15	32	28	60							
											18.32	70	70	170							

図3.2 ボーリング調査の結果

# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 深谷通信所跡地土質調査委託

事業名または工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名	B-3	調査位置	神奈川県横浜市泉区和泉町・中田町・深谷通信所跡地	北緯	35° 23' 44.6239"
発注機関	横浜市政策局 基地対策課	調査期間	令和02年02月13日～令和02年02月17日	東経	139° 29' 53.6470"
孔口標高	H= 41.80 m	角	方位 北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	使用試験機
総削孔長	33.00 m	度	0° 90° 180° 270°	配	ワイビーエム YBM-05
					エンジン ヤンマー NFD-9
					ポンプ 東邦地下工機 BG-3

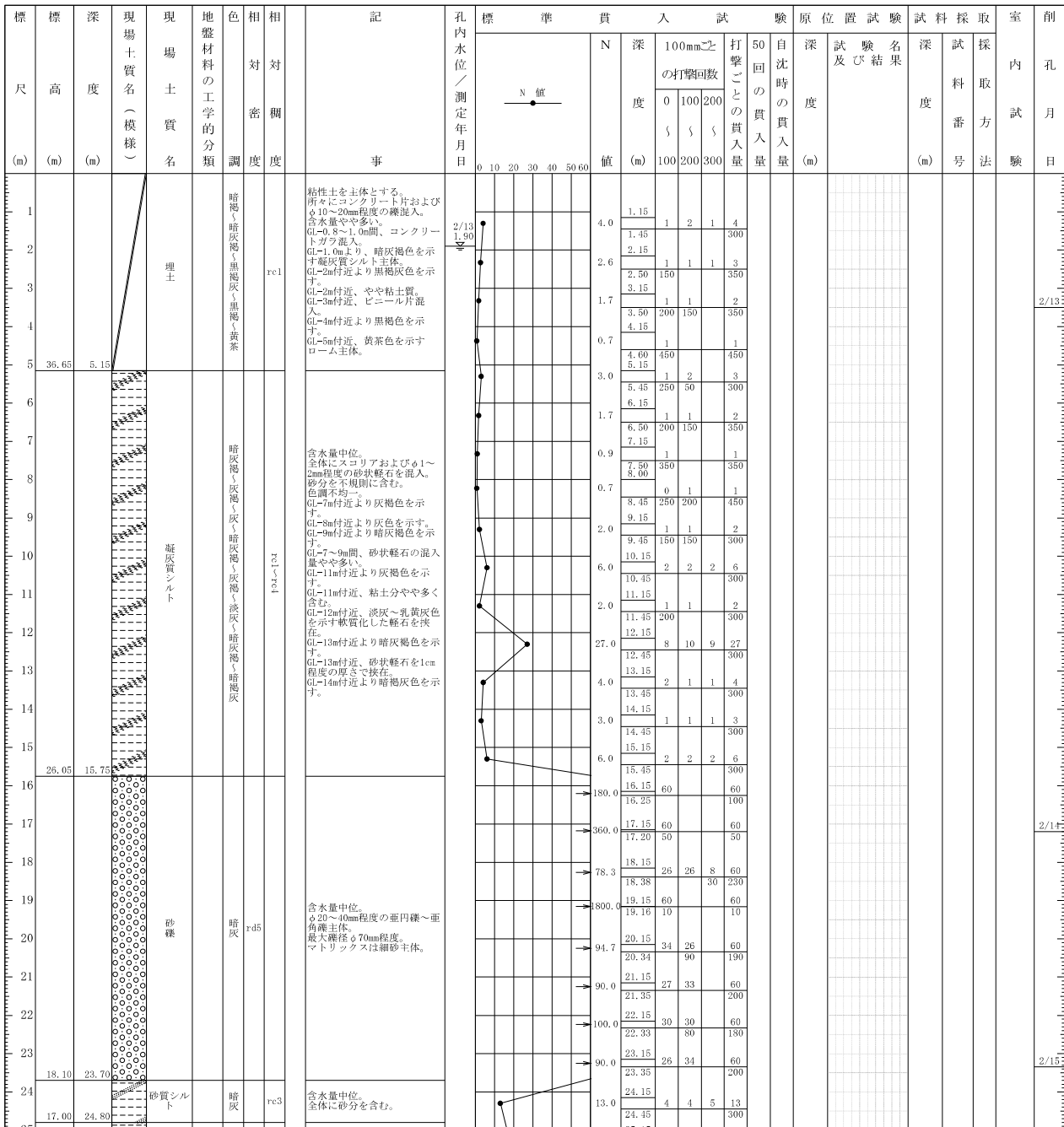


図3.2 ボーリング調査の結果

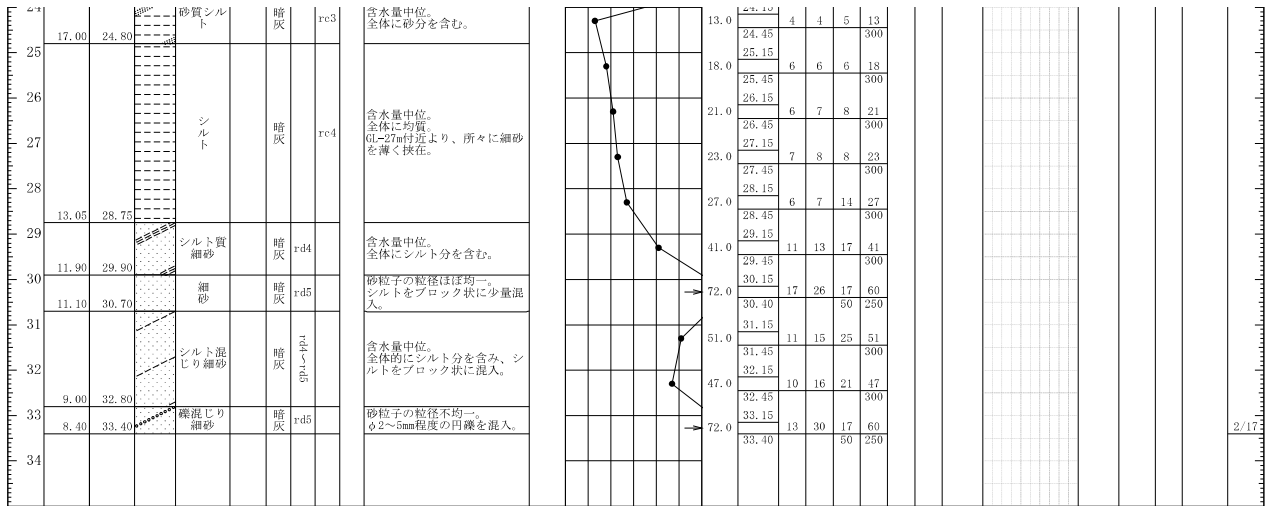


図3.2 ボーリング調査の結果

# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 深谷通信所跡地土質調査委託

事業名または工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名	B-4	調査位置	神奈川県横浜市泉区和泉町・中田町・深谷通信所跡地	北緯	35° 23' 58.9933"
発注機関	横浜市政策局 基地対策課	調査期間	令和02年02月07日～令和02年02月13日	東経	139° 30' 16.1652"
孔口標高	H= 42.78 m	角	180° 上 90° 下 0°	方位	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°
総削孔長	37.00 m	地盤勾配	0°	使用機種	扶桑工業 KR-100HB
		エンジン	ヤンマー TF-90	ポンプ	扶桑工業 V-6

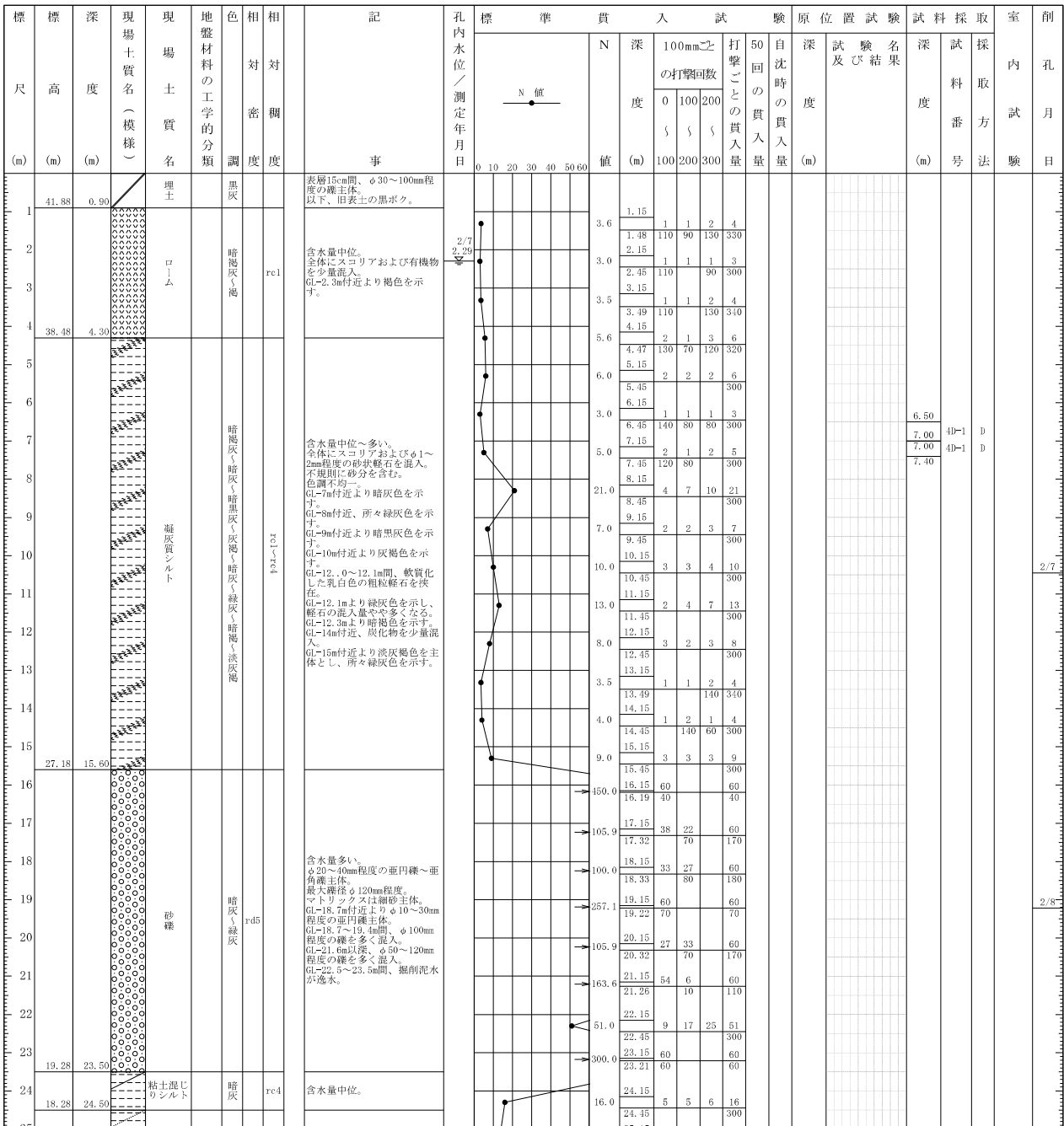


図3.2 ボーリング調査の結果

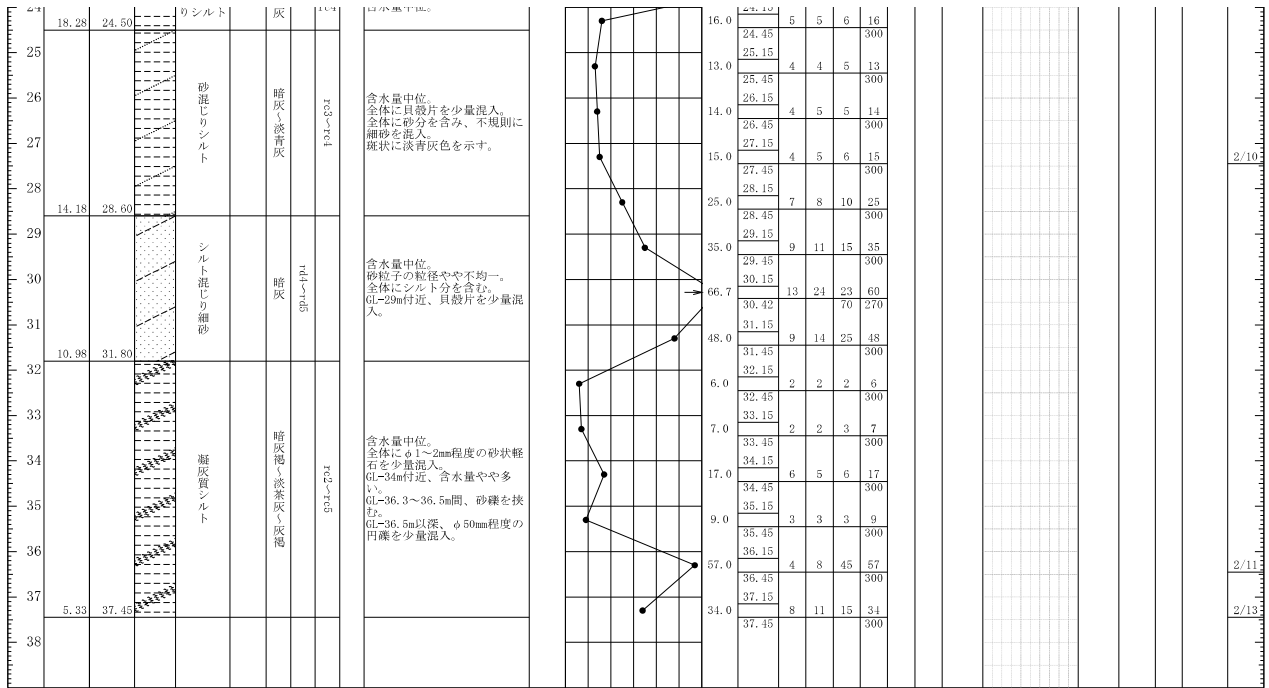


図3.2 ボーリング調査の結果

# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 深谷通信所跡地土質調査委託

事業名または工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名	B-5	調査位置	神奈川県横浜市泉区和泉町・中田町・深谷通信所跡地	北緯	35° 23' 48.7370"
発注機関	横浜市政策局 基地対策課	調査期間	令和02年02月07日～令和02年02月08日	東経	139° 29' 48.4854"
孔口標高	H= 41.30 m	角	180° 上 90° 下 0°	方位	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°
総削孔長	17.00 m	地盤勾配	0°	使用機種	エンジン ヤンマー TF-90
		試験機	東邦地下工機 D-0	ポンプ	東邦地下工機 BG-4

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色相対密度	相対稠度	記号	孔内水位 / 測定年月日	標準貫入試験				原位置試験	試験名及び結果	試験採取番号	室内試験	削孔日
										N値	深さ (m)	100mmの打撃回数	200mmの打撃回数					
1									2/8 4.68	6.0	1.15	2	2	2	6			
2											1.45				300			
3										5.0	2.45	1	2	2	5			
4										5.0	3.15				300			
5											3.45	140	60		300			
6											4.15							
7											4.99		170	70	340			
8											5.15							
9											6.15							
10											6.47	180	140		320			
11											7.15							
12	29.75	11.55									2.7	1	1	1	3			
13											7.48	140	110	80	330			
14											8.15							
15											5.0	2	1	2	5			
16											8.45				300			
17											9.15							
18											2.6	1	1	1	3			
19											9.50	120	140	90	350			
20											10.15							
21											2.0	1	1	1	2			
22											10.45	170	130		300			
23											11.15							
24											1.5	1	1	1	2			
25											11.55	250	150		400			
26											0.0	0	0	0				
27											12.47	320			320			
28											13.15							
29											0.9	1			1			
30											13.50	350			350			
31											14.15							
32											1.9	1	1	1	2			
33											14.46	180	130		310			
34											15.15							
35											2.8	1	1	1	3			
36											15.47	140	110	70	320			
37											16.15							
38											50.0	8	17	25	50	300		
39											16.45							
40											17.15							
41											81.8	23	27	10	60			
42											17.37				20	220		

図3.2 ボーリング調査の結果



# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 深谷通信所跡地土質調査委託

事業名または工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名	B-6	調査位置	神奈川県横浜市泉区和泉町・中田町・深谷通信所跡地		北緯	35° 23' 49.8972"	
発注機関	横浜市政策局 基地対策課	調査期間	令和02年02月06日～令和02年02月07日		東経	139° 29' 50.5547"	
孔口標高	H= 41.33 m	角		地盤勾配		使用試験機	ワイビーエム YSO-1
総削孔長	17.00 m	度	0°	配	0°	エンジン	ヤンマー NS-10
						ポンプ	扶桑工業 V-6

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色相対密度	相対稠度	記号	孔内水位 / 測定年月日	標準貫入試験					原位置試験	試験採取	室内試験					
										N値	深さ (m)	100mmの打撃回数	100mm	200mm				300mm	50回の貫入量	深さ (m)	試験結果	採取番号
1				埋土	暗褐色～灰褐色の粘土質シルト	rd5	rd5	粘土を主体とする。含水量中位。GL-1mまで暗褐色ロームを主体とする。種を少量混入する暗褐色シルト質粘土主体。GL-2m付近より凝灰質シルトを主体とする。GL-2m付近、灰褐色を主体とし、不規則に灰色を示す。GL-3m付近、暗褐色を示す。GL-4m付近、暗褐色を示す。GL-5m付近、暗褐色を示す。GL-6m付近、暗褐色を示す。GL-7m付近、暗褐色を示す。GL-8m付近、茶褐色を示す。GL-9m付近より凝灰質シルトを主体とする。GL-10m付近、暗褐色～黒灰色～暗褐色に変化する。GL-11m付近、暗褐色を示す。GL-12m付近より含水量少なく、凝灰質に固結したシルトを混入。	2.7	5.0	1.15	2	2	1	5							
2									2.30	5.0	1.45	2	2	1	5							
3										4.0	2.45	2	1	2	5							
4										3.0	3.15	2	1	1	4							
5										4.0	4.15	1	1	1	3				4.15			
6										3.4	4.45	1	1	1	4				5.05			
7										3.0	5.15	2	1	1	4							
8										2.7	5.45	2	1	1	4							
9										13.0	6.15	1	1	2	4							
10										12.0	6.50	1	1	2	4							
11	29.83	11.50								6.0	7.15	1	2	3	6							
12			凝灰質シルト	rd5	rd5	含水量中位。全体的にスコリアおよびφ1～2mm程度の砂状軽石を混入。色調不均一。GL-12m付近、含水量多く、乳灰～緑青灰色を示す軟質化した粗粒軽石主体とし、スコリア多量に混入。GL-13m付近より暗褐色を示す。GL-15m付近、やや粘土化する。GL-16m付近より暗褐色を示す。	6.0	12.0	12.45	1	2	3	6									
13									4.0	12.45	1	2	1	4								
14									3.0	13.15	1	2	1	4				13.50				
15									11.0	14.15	1	1	1	3				11.35				
16									13.0	14.45	1	1	1	3								
17	24.33	17.00					砂礫	rd5	rd5	φ2～30mmの重円礫～亜角礫主体。マトリックスは細砂。	11.0	15.15	3	4	6	13						
18	24.07	17.26					163.6	16.45	3	4	4	11										
								17.25	16.45	54	6	60										
								17.25	17.25	10	10	110										

図3.2 ボーリング調査の結果

# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 深谷通信所跡地土質調査委託

事業名または工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名	B-7	調査位置	神奈川県横浜市泉区和泉町・中田町・深谷通信所跡地	北緯	35° 23' 55.8353"
発注機関	横浜市政策局 基地対策課	調査期間	令和2年02月20日～令和2年03月05日	東経	139° 29' 56.3447"
孔口標高	H= 41.95 m	角		地盤勾配	
総削孔長	22.00 m	使用試験機	ワイビーエム YBM-1	ポンプ	扶桑工業 V-6
		エンジン	ヤンマー NFD-12		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色相対密度	相対稠度	記	孔内水位 / 測定年月日	標準貫入試験				原位置試験	試験名	試験結果	採取番号	室内試験	削孔日
										N 値	深 度 (m)	100mm 以上の打撃回数	50 回の貫入量						
1				埋土		褐色		含水量中位。GL-1.8mまでロームおよび黒ボクの混合土。GL-1.8m以降、暗灰色シルト主体。											
2	39.75	2.20																	
3																			
4																			
5																			
6				廃棄物		黒灰		廃棄物は、燃え殻、布、ビニール片、金属片、木片、プラスチック片等。充填土はシルトを主体とし、悪臭あり。GL-9m以降、褐色～淡褐色を示す粘土混じりシルトを主体とし、所々に金属片および木片等の廃棄物が点在。	2/22 5.43										
7																			
8																			
9																			
10																			
11	30.65	11.30																	
12																			
13				凝灰質シルト		黒灰		含水量中位。全体にスコリアおよびφ1～2mm程度の砂状軽石を混入。不規則に砂を含む。GL-11.5mより暗褐色を示す。GL-12.0～13.0m間、所々粘土化する。GL-13.0mより暗褐色を示す。GL-14.6mより暗褐色を示す。											
14																			
15																			
16	25.55	16.40																	
17																			
18																			
19				砂礫		暗灰	Fd5	含水量多い。φ10～20mm程度の重円礫～重角礫主体。最大礫径φ100mm程度。マトリックスは細砂。GL-21.10m～21.25m間、シルト混じり細砂を挟む。GL-21.70m～22.00m間、礫混じり細砂を挟む。											
20																			
21																			
22	19.64	22.31																	
23																			

図3.2 ボーリング調査の結果

# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 深谷通信所跡地土質調査委託

事業名または工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名	B-8	調査位置	神奈川県横浜市泉区和泉町・中田町・深谷通信所跡地	北緯	35° 24' 1.9206"
発注機関	横浜市政策局 基地対策課	調査期間	令和2年02月15日～令和2年02月26日	東経	139° 29' 57.2612"
孔口標高	H= 41.49 m	角	180° 上 90° 下 0°	方位	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°
総削孔長	17.00 m	地盤勾配	0°	使用機種	扶桑工業 KR-100
				エンジン	ヤンマー TF-90
				ポンプ	扶桑工業 V-6

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位 / 測定年月日	標準貫入試験				原位置試験	試験名及び結果	試験採取番号	室内試験	削孔月日		
											N値	深さ (m)	100mm以上の打撃回数	50回の貫入量							
1	40.49	1.00	埋土	埋土	埋土	黒灰			ロームと黒ボクの混合土。全体に礫が点在。	2/18 1.37	7.0	1.15	3	2	2	7					
2											11.0	1.45	2	2	7	11					
3									廃棄物は、燃え殻、布、ビニール片、金属片、ゴム片、レンガ片、木片、プラスチック片等。	2/15 3.66	35.0	2.45	8	15	12	35					
4									充填土はシルトを主体とし、悪臭あり。		12.0	3.45	3	4	5	12					
5									GL-4.9~7.5m間、黒灰~黒褐色シルトを主体とし、所々にビニール片等の廃棄物が点在。		2.9	4.15	1	1	1	3					
6									GL-7.5m以深、淡褐色凝灰質シルトを主体とし、ビニール片および陶器片等の廃棄物が点在。		1.8	5.45	1	1	1	2					
7									GL-7.5m付近より含水量多い。		2.6	5.15	1	1	1	3					
8											2.6	5.46	1	1	1	3					
9											1.3	6.15	1	1	1	3					
10	31.89	9.60	埋土	埋土	埋土	暗黒灰			凝灰質シルト主体。含水量中位。		0.8	7.49	1	1	1	3					
11	31.19	10.30	埋土	埋土	埋土	暗黒灰					9.52	7.49	1	1	1	3					
12									粘性中位。スコリアおよびφ1~2mm程度の砂状礫石を混入。砂分を不規則に含む。色調不均。		1.0	8.15	0	1	1	1					
13									GL-11.1m付近より灰褐色を示す。		1.9	10.45	80	220	300	300	10.50				
14									GL-12m付近より黒褐色を示す。		4.0	11.15	1	1	2	4	11.10				
15									GL-13m付近より灰褐色を示す。		3.8	12.15	1	1	2	4	11.10				
16									GL-14m付近、含水量やや多い。		8.0	13.47	1	1	2	4	11.80				
17									GL-14.3~14.8m間、細砂状のスコリアを挟む。		8.0	14.15	2	1	1	4					
18									GL-15m付近より灰褐色を示す。		9.0	14.45	2	1	5	8					
19	25.79	15.70	シルト混じり砂礫	シルト混じり砂礫	シルト混じり砂礫	暗黒	rd4		φ20~40mm程度の亜円礫~亜角礫主体。最大礫径φ50mm程度。		48.0	15.45	15	11	22	48					
20	24.99	16.50	砂礫	砂礫	砂礫	暗黒	rd5		マトリックスはシルト主体。		69.2	16.15	17	24	19	60					
21	24.08	17.41	砂礫	砂礫	砂礫	暗黒			φ20~40mm程度の亜円礫~亜角礫主体。最大礫径φ50mm程度。			17.15	60	260							
22									マトリックスは細砂主体。			17.41	60	260							

図3.2 ボーリング調査の結果

# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 深谷通信所跡地土質調査委託

事業名または工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名	B-9	調査位置	神奈川県横浜市泉区和泉町・中田町・深谷通信所跡地		北緯	35° 23' 41.2868"			
発注機関	横浜市政策局 基地対策課	調査期間	令和02年02月20日～令和02年02月27日		東経	139° 39' 0.1590"			
孔口標高	H= 42.13 m	角		方位		地盤勾配		使用試験機	ワイビーエム YBM-05
総削孔長	16.00 m	度		位置		配		エンジン	ヤンマー NFD-9
								ポンプ	東邦地下工機 BG-3

標尺	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相対密度	相対稠度	記	孔内水位 / 測定年月日	標準貫入試験				原位置試験	試験採取	室内試験	削孔		
											N 値	深	100mm	200mm						
				埋土		暗灰色		re5	シルト主体、アスファルト片およびコンクリートガラ混入。GL=1m付近より1=10cm程度のコアとして採取されるコンクリートガラの混入多くなる。	2/21 2.30	72.0	1.15	2	3	55	60				
	40.13	2.00									9.0	2.15	4	3	2	9				
				廃棄物		黒灰		rd5~rd1	含水量多い、コンクリートガラ、廃棄物は、コンクリートガラ、ゴム片、ビニール片、金属片、木片、陶磁器片、ガラス片、プラスチック片等。充填土はシルトを主体とし、膨張あり。GL=6~7m付近、廃棄物の混入量やや少ない。		11.0	3.15	5	3	3	11				2/21
											6.0	4.15	2	2	2	6				
											12.0	5.45	3	5	4	12				
											26.0	6.45	4	6	16	26				
											17.0	7.15	6	5	6	17			2/22	
											16.0	8.15	7	5	4	16			2/23	
	32.98	9.15									3.0	8.45	1	1	1	3				
				凝灰質シルト		暗灰色		rd5~rd3	含水量中位。全体にスコリアおよび0.1~2mm程度の砂状軽石を混入。不規則に砂分を含む。色調不均一。上部腐植付近、含水量やや多い。GL=10m付近、スコリアを多量に混入。GL=12m付近より暗褐色を示し、砂状軽石の混入量やや多くなる。GL=13m付近より黒褐色を示す。GL=14m付近より暗褐色を示し、粘土化する。GL=15m付近より淡緑色を示し、砂状軽石の混入少なくなる。		10.0	10.15	3	3	4	10				
											6.0	11.15	1	2	3	6				
											7.0	11.45	2	2	3	7			2/26	
											3.0	12.45	2	2	3	7				
											5.0	13.15	1	1	1	3				
	26.78	15.35									3.0	13.45	2	1	2	5				
											15.0	14.15	2	1	2	5				
	25.77	16.36		砂礫		暗灰		rd5	含水量多い。角20~30mm程度の垂直礫~垂直角礫主体。最大礫径約40mm程度。マトリックスは細砂主体。		85.7	15.45	3	2	10	15				
												16.15	31	25	4	60			2/27	
												16.36			10	210				

図3.2 ボーリング調査の結果

# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 深谷通信所跡地土質調査委託

事業名または工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名	B-10	調査位置	神奈川県横浜市泉区和泉町・中田町・深谷通信所跡地	北緯	35° 23' 45.5236"
発注機関	横浜市政策局 基地対策課	調査期間	令和2年03月03日～令和2年03月05日	東経	139° 30' 7.1461"
孔口標高	H= 41.75 m	角	180° 上 90° 下 0°	方位	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°
総削孔長	17.00 m	地盤勾配	0°	使用機種	ワイビーエム YBM-05
		エンジン	ヤンマー NFD-9	ポンプ	東邦地下工機 BG-3

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位 / 測定年月日	標準貫入試験				原位置試験	試験名及び結果	試料採取番号	室内試験	削孔月日		
											N値	深度 (m)	100mm以上の打撃回数	打撃ごとの貫入量							
1	40.00	1.75	埋土	埋土		暗灰濁		rc3	凝灰質シルトとロームの混合土。含水量中位。φ2~5mm程度の礫を少量混入。	3/3 1.80	10.0	1.15	3	2	5	10					
2											14.0	1.45	4	5	5	11					
3											7.0	2.45	3	2	2	7					
4											24.0	3.45	4	10	10	24					
5									含水量多い。廃棄物は、コンクリートガラ、ゴム片、ビニール片、ガラス片、プラスチック片等。充填土はシルトを主体とし、悪臭あり。		8.0	4.45	1	3	4	8					
6											16.0	5.45	12	19	8	39					
7	34.05	7.70	廃棄物	廃棄物		黒濁		rc3, rd5			39.0	6.45	8	5	3	16				3/3	
8											16.0	7.45	8	5	3	16					
9											15.0	8.45	4	5	6	15					
10									含水量中位。全体にスコリアおよびφ1~2mm程度の砂状軽石を混入。不規則に砂分を含む。色調不均一。CL-10m付近より淡黄灰色を示す。		5.0	9.45	2	1	2	5					3/4
11											11.0	10.45	3	3	5	11					
12											7.0	11.15	2	2	3	7					
13									CL-11m付近、乳黄灰色を示し、スコリアを多く混入する軟質化した粗粒軽石を混入。CL-12m付近より暗褐色を示す。CL-13m付近より黒褐色を示す。		7.0	12.45	3	2	2	7					
14									CL-12~13m間、砂状軽石の混入量や多い。CL-14m付近より灰褐色を示す。CL-15m付近より暗褐色を示し、砂質シルト状を呈す。		6.0	12.15	2	2	2	6					
15											8.0	13.45	3	3	2	8					
16	25.75	16.00	凝灰質シルト	凝灰質シルト		暗灰濁		rd5			23.0	14.15	7	8	8	23					
17	24.45	17.30	砂礫	砂礫		暗灰			φ10~30mm程度の亜円礫~亜角礫主体。最大礫径φ40mm程度。マトリックスはシルト主体。		225.0	15.45	60			60					3/5
18											120.0	16.15	80			80					
												17.15	42	18		60					
												17.30	50			150					

図3.2 ボーリング調査の結果

# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 深谷通信所跡地土質調査委託

事業名または工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名	B-11	調査位置	神奈川県横浜市泉区和泉町・中田町・深谷通信所跡地	北緯	35° 23' 52.4598"
発注機関	横浜市政策局 基地対策課	調査期間	令和02年02月20日～令和02年02月26日	東経	139° 30' 17.1504"
孔口標高	H= 43.34 m	角	180° 上 90° 下 0°	方位	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°
総削孔長	32.00 m	地盤勾配	0°	使用試験機	ワイビーエム YBM-05
		エンジン	ヤンマー TF-90	ポンプ	扶桑工業 V-5

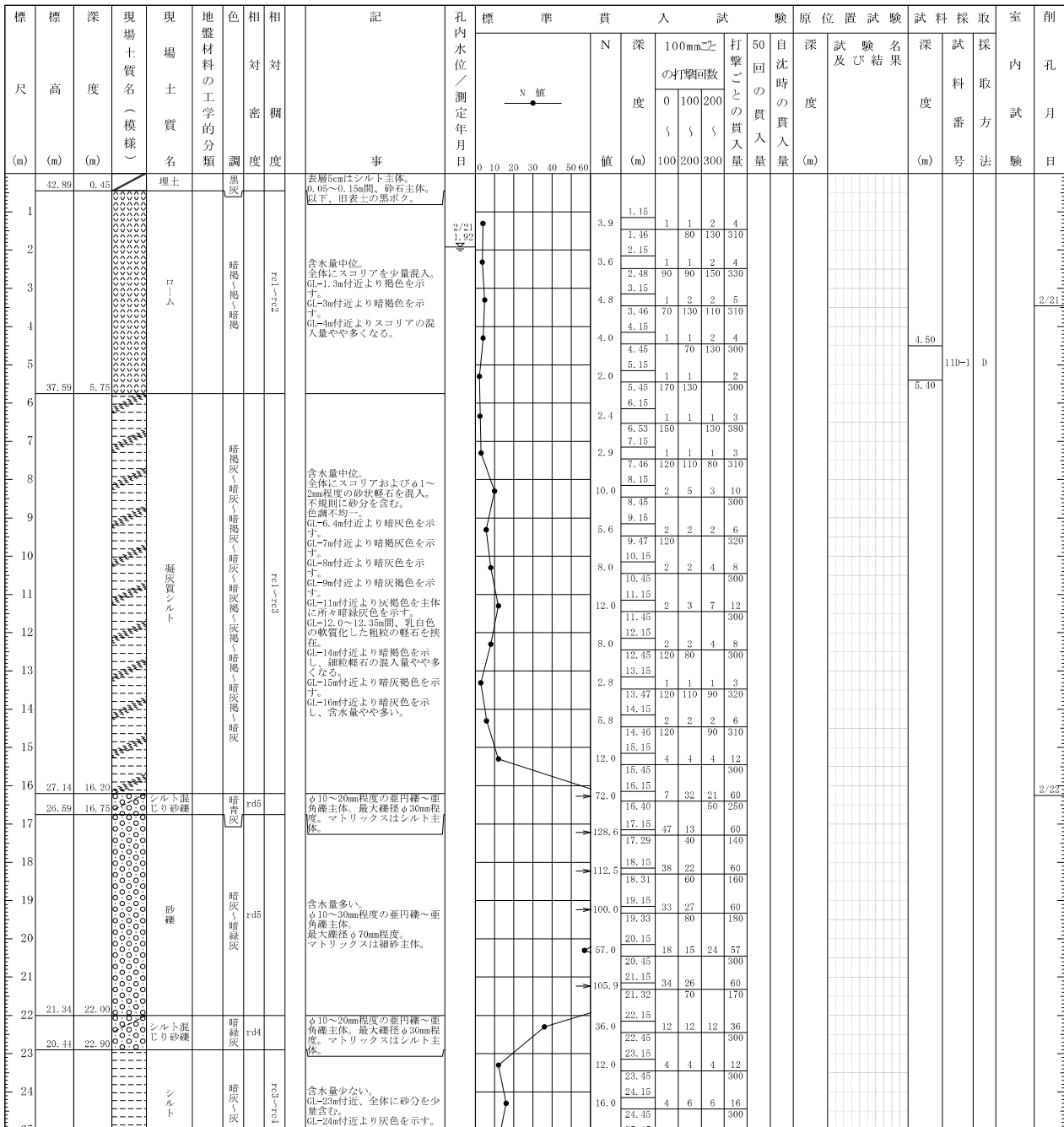


図3.2 ボーリング調査の結果

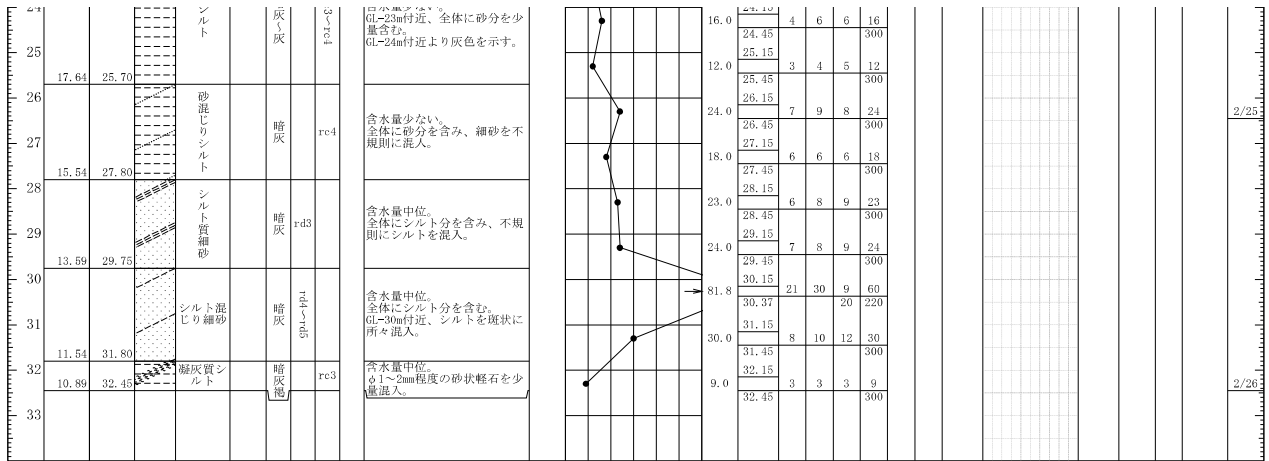


図3.2 ボーリング調査の結果  
資料24

## 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調 査 名 深谷通信所跡地土質調査委託

事業名または工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名	B-12	調査位置	神奈川県横浜市泉区和泉町・中田町・深谷通信所跡地		北 緯	35° 23' 50.4464"
発 注 機 関	横浜市政策局 基地対策課	調査期間	令和02年02月13日～令和02年02月15日		東 経	139° 29' 57.3944"
孔 口 標 高	H= 42.29 m	角 度		地 盤 勾 配	使用 試 錐 機	東邦地下工機 D-0
総 削 孔 長	33.00 m				エンジン	ヤンマー TF-90
					ポンプ	東邦地下工機 BG-3

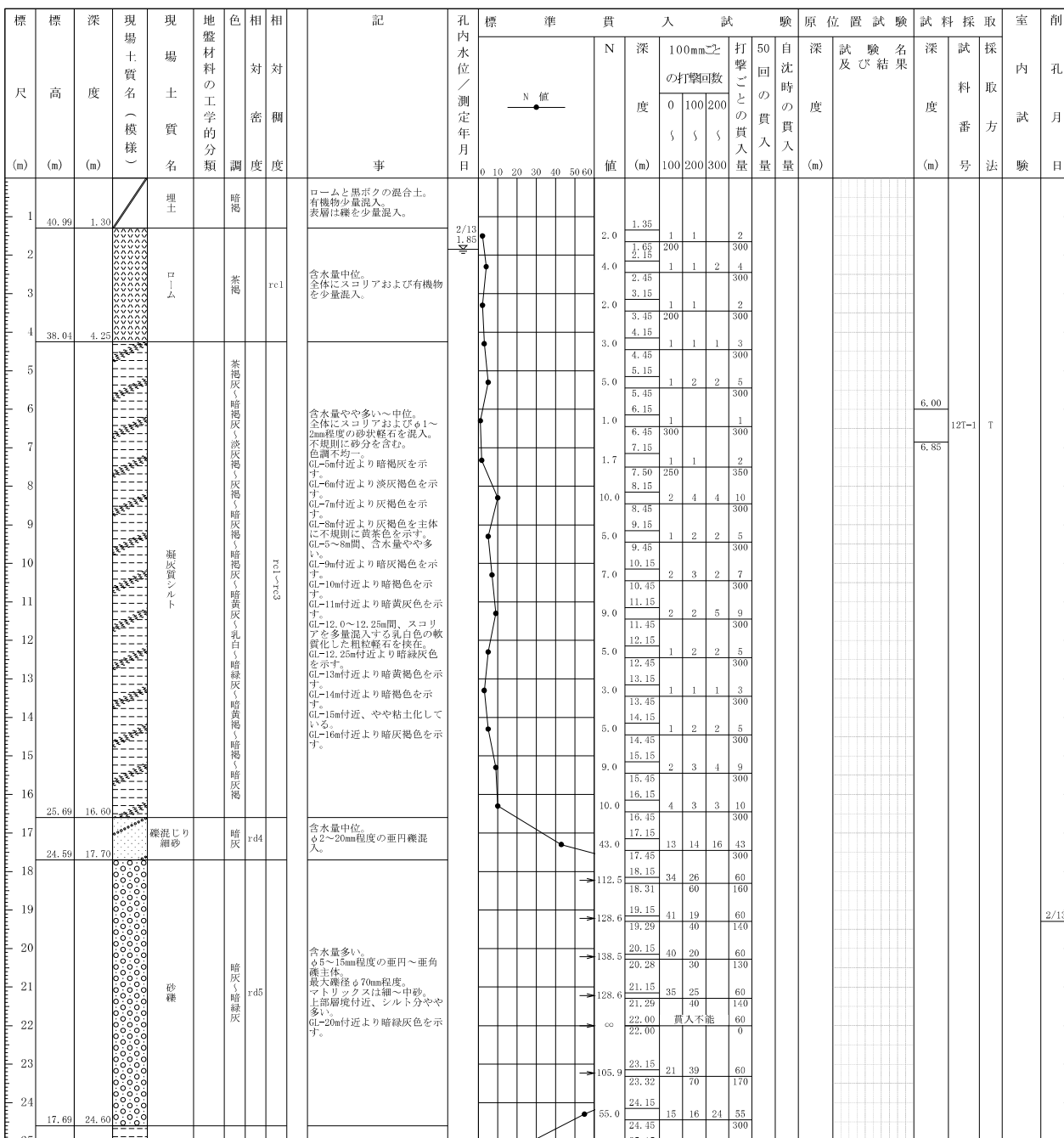


図3.2 ボーリング調査の結果



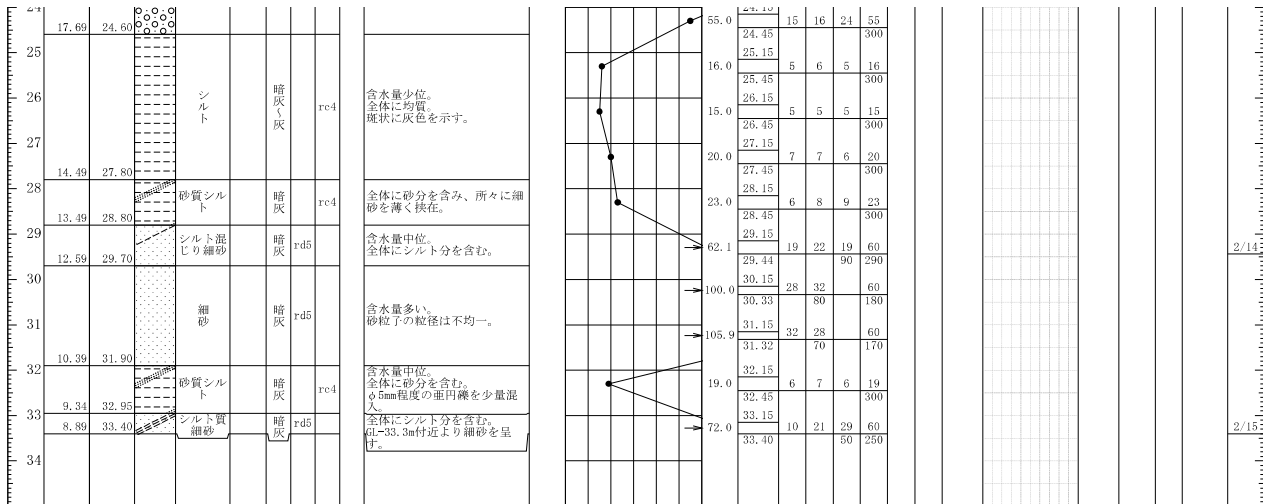


図3.2 ボーリング調査の結果